

みずほCustomer Desk Report 2020/04/17号(As of 2020/04/16)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	107.70
TKY 9:00AM	107.63	1.0903	117.33	1.2525	0.6310
SYD-NY High	108.08	1.0911	117.50	1.2525	0.6334
SYD-NY Low	107.16	1.0817	116.56	1.2409	0.6264
NY 5:00 PM	107.90	1.0840	116.92	1.2454	0.6327
NY DOW	23,537.68	33.33	日本2年債	-0.160	0.00bp
NASDAQ	8,532.36	139.19	日本10年債	0.002	▲0.85bp
S&P	2,799.55	16.19	米国2年債	0.2086	0.88bp
日経平均	19,290.20	▲259.89	米国5年債	0.3511	1.34bp
TOPIX	1,422.24	▲11.83	米国10年債	0.6165	▲1.75bp
シカゴ日経先物	19,310.00	▲95.00	独10年債	-0.4770	▲1.10bp
ロンドンFT	5,628.43	30.78	英10年債	0.2980	▲0.05bp
DAX	10,301.54	21.78	豪10年債	0.8680	▲7.00bp
ハンセン指数	24,006.45	▲138.89	USDJPY 1M Vol	8.53	▲0.13%
上海総合	2,819.94	8.76	USDJPY 3M Vol	8.68	0.00%
NY金	1,731.70	▲8.50	USDJPY 6M Vol	8.63	▲0.03%
WTI	19.87	0.00	USDJPY 1M 25RR	-2.63	Yen Call Over
CRB指数	123.63	0.00	EURJPY 3M Vol	10.02	0.24%
ドルインデックス	100.03	0.56	EURJPY 6M Vol	10.03	0.27%

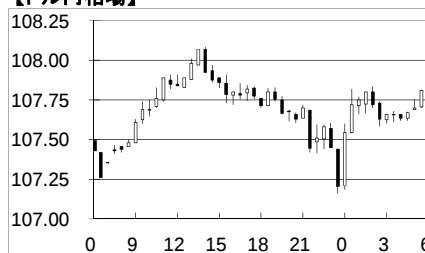
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月16日	10:30	豪雇用者数変化	3月 5.9k	-30.0k
	10:30	豪失業率	3月 5.2%	5.4%
	15:00	独CPI(前月比/前年比)・確報	3月 0.1%/1.4%	0.1%/1.4%
	21:30	米住宅着工件数(前月比)	3月 -22.3%	-18.7%
	21:30	米住宅建設許可(前月比)	3月 -6.8%	-10.7%
	21:30	米フィデリティ連銀景況	4月 -56.6	-32.0
	21:30	米新規失業保険申請件数	- 5245k	5500k
4月17日	00:00	米ボスティック・アトランタ連銀総裁 講演	「できる限り多くの企業が存続できることが重要」	
	03:00	米ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演	「パンデミックにおいて財政政策は主要な役割」	

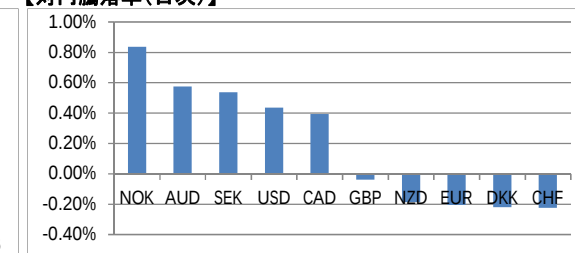
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月17日	11:00	中 小売売上高/固定資産投資/鉱工業生産(年初前年比)	3月 -12.5%/-15.0%/-10.0%	-20.5%/-24.5%/-13.5%
	13:30	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・確報	2月 -	0.4%/-4.7%
	18:00	欧 CPI(前月比/前年比)・確報	3月 0.5%/0.7%	0.5%/1.2%
	22:00	米 ブラード・セントルイス連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】ポスト・コロナ時代の中銀

新型コロナウイルスがパンデミックリスクとして意識されてから早2ヶ月。世界中でロックダウンにより感染拡大を防止、需要減や雇用対策では前例のない規模での財政出動が実施され、グローバルで疫病との戦いが繰り広げられている。斯かる中、各国中央銀行も金融緩和を迅速に進めており、初めて国債購入などの量的緩和(QE)に踏み切った豪・加などの中銀が出てくるなど、こちらも最初から止血に向けて全力を尽くしている。その中でも米FRBの急速かつ大胆な金融政策の変更には驚いた方も多いのではないのか。この約1ヶ月で実質的にゼロ金利を導入&QEを再開、ドル供給に関しては15の中銀向けに常設流動性供給ファシリティを展開、その対象外になる当局にはFIMAファシリティを設置して支援体制を万全なものにした。加えて、連邦準備法13条3項に基づく緊急貸出権限を行使し、CP市場や地方債・社債・証券化商品市場を、または中小企業向け融資をサポートする資金供給プログラムを設置したことを受け、パニック的なドル調達圧力は落ち着きを取り戻しつつある。ここで特筆すべきは、緊急貸出権限を行使した点であろう。中央銀行の責務の中に「最後の貸し手(Lender of Last Resort)」という機能があるが、リーマンショック時に何のモニタリングもなく特定の金融機関救済に9兆ドルも資金が供給された反省から、2010年に成立したドット・フランク法により本条項に基づく融資実行は財務長官の承認を得る必要がある形に制限されていた。それが先月成立したCARES法(新型コロナウイルス支援・救済・経済保障法)で財務省の基金から4540億ドル分が充当され、その10倍程度までの融資が再び可能になった。政治との距離が急速に近づき個別企業を救済できるようになった今のFRBは「最初の救済者(Rescuer of First Resort)」という声も聞こえてくる。1977年の連邦準備改革法案で定められた「最大限の雇用と物価安定」を満たすためには仕方ないのかも知れないが、基軸通貨であるドルを世界中に供給することまで求められる今のFRBを見ると、どこまで拡大する役割に対応できるのだろうか。今後の中銀の果たすべき責務は何なのか今一度考えるべきであろう。(岡本)

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷崎
ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア

ブル	ベア
6	14

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。